



題字揮毫 千家達彦 (元いなさ会最高顧問)

写真提供 板垣 宏 (写真家・高校7期) 表紙写真: 第16回出雲駅伝(2004年)

第31号

## 明けない夜はない

副会長 金 築 孝 (高校十九期)



は今年の一月でしたか。

それからの顛末については割愛させていただきますが、パンデミックだとかオーバーシュートだとか耳慣れない言葉が飛び交い、東京オリパラも延期になりました。そして今も世界的に大変な拡大をしています。

鳥根県は比較的感染者が少ないのですが、移動の自粛や新しい生活様式が言われ、どうにも元気が出ません。地域の行事はあれもこれも中止や延期です。この中で、例年六月に開催していたわが松江いなさ会の総会も延期のやむなきに至りました。また、「出雲駅伝」も中止になりそうとのニュースも入ってきています。

三密とやらを避けるために、テレワークとかオンライン教育などが行われています。こんなことは一昔前ならSFの世界の話だったと思うのですが、ずいぶん変わってきたものです。

ちよつと驚いたのは緊急経済対策「特別定額給付金」の申請です。郵送とオンラインの2方式があり、急ぐ人は郵送を選んでくださいとのこと。普通はオンラインが速くて便利としたものです。眠っていたマインバーカードの出番がやっと来たかと思つたのに糠喜びに終わりました。

日本のIT技術はなんだかんだ言つたつて世界に冠たるものであると思つていましたが、どうもそうでもないらしい。IT以外でも理解できないようなことがいくつもあり、少々大げさですがコロナ騒ぎは日本を見直す機会とはなりました。このような思いは多くの人がお持ちになつたのではないのでしょうか。

この厄災はいつまで続くかわかりません。しかし、明けない夜はないとも、災い転じて福となすとも言います。願わくは、今回の厄災に抱いた思いも糧に、みんなで早くいい夜明けを迎えたいものです。最後に、皆様のご健勝を心からお祈りいたします。

## 令和元年度松江いなさ会総会 記念講演

「シーボルトから

出雲だいいこくまで」



日本ツバキ協会  
しまね花椿同好会 幹事  
かねつき いちろう  
金築 一郎氏

日本ツバキ協会しまね花椿同好会支部の幹事をなさっている金築一郎さんによるご講演を頂きました。現代の花咲かじいさんの楽しいお話はたくさんのツバキの写真を紹介しながらの興味深いものでした。中でも二〇一一年（平成二十三年）に出雲市大社町鷺浦の山林で発見された新種の黒椿については全国のツバキ愛好家の注目を集めるところですがこの新種の鑑定にあたって金築さんは一役買われたそうです。

お話は一八二三年に長崎にやってきたオランダ商館の医師シーボルトがツバキや百合など日本の植物をオランダに持ち帰ったところから始まります。シーボルトが持ち帰ったツバキは正義まさよしという品種のツバキで、ヨーロッパにおける品種改良の交配親

として貴重な品種になりました。金築さんはあるお茶会の席で一輪挿しに飾られたツバキに心を惹かれ、その場で苗木を予約してからツバキの虜になったとのことでした。それが「正義」でした。ツバキの歴史を調べるうちに、シーボルトのもとで学び、直筆の修業証書をもらった三人の弟子のひとりが出雲市の医師「西山砂保」にしやますなほだったことも知りました。金築さんの中でヨーロッパに渡ったツバキ「正義」と出雲がつながっていったようです。ツバキに熱中していくうちに、金築さんの自宅の周りは三千本ものツバキの木で囲まれるようになりました。そして多品種の自然交配や人為的な交配によって金築さんが作り出したツバキの新種はなんと五十種類にもなり、更に数十の新種を確認中とのこと、まさにツバキ博士です。

下の写真は二〇一四年に金築さんが作り出し、日本ツバキ協会で新品種登録認定された「綿ぼうし」という名前のツバ



キです。他にも白の中に赤く咲く「杵築日の丸」、葉の形に特徴がある「杵築の梵天」など、スライドで次から次へと紹介されるツバキの花に見とれながらも、そこまでツバキに熱中される金築さんを呆れながらも羨ましくも思う会員の皆さんの顔が印象的でした。

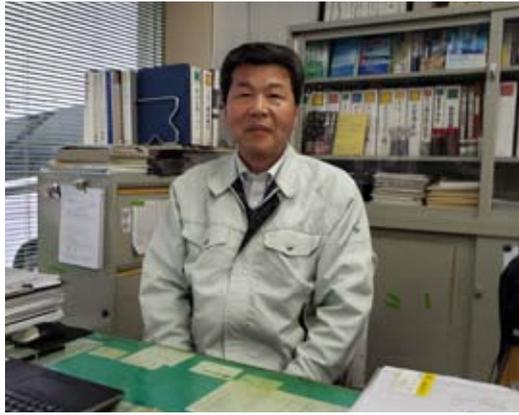
大社町鷺浦で発見された黒紫の花弁を持つ新種のツバキは千家宮司様によって「出雲だいいこく」と命名されました。しかし自生していた時の黒紫の色を自宅の庭で再現することはとても難しいそうです。きっと銅鉦山特有の土壌が関係しているのではないかとのことです。金築さんはこの神秘的な「出雲だいいこく」を全国の、そして世界のツバキ愛好家に向けて発信していきたいとのこと。それは私達のふるさと大社町を全国に一層知らしめることにもつながるかも知れません。



# 松江で活躍する 大社高校OB訪問記

有限会社山陰ネツカリッチ 代表取締役

白根 信彦 氏 (高校三十期)



先代から受け継いだ「商道即人信条とする経営理念をそのまま形にしたような実直なお人柄、有限会社山陰ネツカリッチ(本社・松江市袖師町)

の代表取締役である白根(旧姓中島)信彦社長さんを訪ねてきました。大社高校第三十期の卒業生である白根さんは、出雲三中を出て大社高校に、というより野球部に入学してきた熱血児だったそうです。一年生補欠ながら昭和五十一年春の甲子園選抜出場を果たした伝説のチーム、そうそう思い出しました。習志野高校との1回戦では勝利を手にした8回の裏の大逆転劇で涙を飲んだあの試合ですね。

高校を出て東京の大学を卒業してからは、大社高校のOBが東京で創業した山陰の食材卸の会社で五年間営業を担当し、その後二年間アメリカのロサンゼルスで日本食材の流通を経験したそうです。三十才になって島根に帰り、先代のネツカリッチ社長さんに見込まれて婿養子さんになられました。そうして三十年が過ぎ、いまは立派な社長さんです。本当にいろんな経験を積んで来られたんですね。

しかしネツカリッチといえばスーパーに並んでいるミネラル分豊富だけどちよつと高い卵、というイメージしか思い浮かびませんでした。が、卵の話の前に「まずこれを見てください」と差し出されたのは熱処理された杉のチップ。「これは鶏や豚、牛の畜舎に敷くベッドのようなもので、堆肥はこのリグニン除去した杉チップ内に生息する微生物によって素早く分解されて清潔で匂いもない有機肥料となります。ミネラル分豊富で畑の中の微生物の餌になるこの有機肥料が長野県のレタス農場からも注目されて、先日テスト出荷されました。」

「それから、この論文を見てください。これは広島大学の先生が研究されているエクソソームに着目した牛乳の成分評価試験の研究論文です。」なんですか、そのエクソソーム



(大社高校野球部ホームページより)



の二倍のエクソソームがあることがわかったのです。」そつ、そうですか・・・。

「そしてまた農畜水産業は水を抜きにしては語れません。この顕微鏡で見えるのは水の分子ではなく水に溶けたケイ素などの結晶でして、これによって無秩序と思われる水の分子が実は六角形に結合していることが分かります。その活性化水が山陰の畜産業を変えています。」

いやはや、甲子園球児はこんなにも研究熱心な科学者であり立派な経営者になっていました。確かに値段だけで勝負するのではなく、この山陰からしつかりとした学術的な裏付けのあるブランド化した食品を流通させていきたいという熱意が伝わってきました。結局卵の話は聞かずじまいでしたけど、私も帰りにスーパーでネツカリッチ卵を買って帰りました。きつと美味しいに違いありません。

(文責 今岡)

たいなのは?

「細胞から分泌される免疫情報などを伝達するタンパク質のようなもので、まあ後でネット検索してください。とにかくこのネツカリッチ飼料で育てられた山陰の酪農家の牛乳には通常

# 果てしなく続く 剣の道

島根県警察学校教官  
剣道範士八段

たかぎ ひろのぶ  
高木 弘伸氏（高校二十五期）

剣道の最高段位八段まで四十七才という異例の若さで上り詰めた大社高校OBの高木弘伸さんを知らない人は、島根県の剣道界そして教育界にはいません。大社高校校長を最後に教職から退かれた高木さんはいま、島根県の安全を守る警察官の新人に「社会人としての必要な教養」を教えています。

写真は昭和五十五年八月、全国教職員剣道大会で優勝された若き日の高木さんです。

取材におじゃました警察学校の応接室で、背筋をピンとのばし開口一番おっしゃったのは「オリンピックに剣道を競技種目として入れることを、断固として阻止しないとイケないので。」いや驚きました、柔道をオリンピック種目にするのがあの嘉納治五郎の念願だったと大河ドラマでは言っていたはずですが剣道はそうではないのですか？

「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道です。だから勝った負けたのという競技性だけではなく人間修養ということが大切。オリン

ピック種目になればその大切な精神性が損なわれてしまうことを恐れています。」なるほど、しかし日本だけでなく世界にも剣道愛好家が増えていてその人口は柔道をしのぐとも言われるのにそれももつたない気もしますね。

「いやいや、その精神性こそが世界に剣道を修行する人を増やしている一番の要因であると私は思っています。」うーん、言葉のひとつひとつが重たいです。

高木さんは大社町日御碕、漁師の家の長男として生まれました。その頃の日御碕の子どもたちはほとんどみな駐在所の宍道平吉先生の剣道教室（日御碕小・中学校体育館）で剣道を学んでいたそうです。同級生に誘われるまま、当たり前のごとく剣道を始めた高木さんは土曜日、日曜日も休みなくほとんど毎日通いました。駐在所の宍道先生も毎日指導にいられたそうで、「日御碕はのんびりした田舎町でしたので大きな事件や事故もなく暇だったのかも知れませんが、」と笑います。その宍道先生は、い



ま島根で、考古学や歴史の分野で活躍しておられる高校十八期の宍道正年先生のお父様ですね。島根県内でも屈指のスポーツ強豪校として名高いわが大社高校の伝統もそうした先人の功績があつてのことです。

小学生の頃から中学生と稽古して鍛えられ、知らず知らずのうちに強くなった高木さんは、大社高校二年の時の和歌山国体で5位に入賞、県内では敵なしの剣士となりました。胸を張って進学した東京教育大学（現在の筑波大学）でしたが、そこで厳しい壁にぶち当たります。高校時代は県内無敵の高木さんも、大学での最初稽古で自分の剣道の未熟さを思い知らされたそ

## 段位と称号の違い

段位は「剣道の技術的力量(精神的要素を含む)」を示す。

称号は「これに加える指導力や、識見などを備えた剣道人としての完成度」

## 審査について

段位の審査(五段までは地方審査、六段以上は全国審査)

### 受審資格

- ・初段 一級受有者で、満13歳以上の者
- ・二段 初段受有後1年以上修業した者
- ・三段 二段受有後2年以上修業した者
- ・四段 三段受有後3年以上修業した者
- ・五段 四段受有後4年以上修業した者
- ・六段 五段受有後5年以上修業した者
- ・七段 六段受有後6年以上修業した者
- ・八段 七段受有後10年以上修業し、かつ、満46歳以上の者

うです。自分の剣道が全く通用しない。そして地獄のような稽古が始まりました。「一年生の時は毎日死ぬんじゃないかと思いつつ稽古していました。しかし、この厳しい稽古があつて剣道の基礎ができた。」と話されます。稽古の厳しさは日本一。当然大学日本一が目標だったようですが、その夢は果たせず関東大会で3位、全国大会で5位という成績を残して教員になる

ためにふるさと鳥根に帰って来られました。いや名剣士も一日にしてはならずですが、それにも大変な修行の連続だったようですね。

意外にも教員としてのスタートは講師として松江緑が丘養護学校という病虚弱の子供達を対象とした特別支援学校。これは病弱で幼くして亡くなられた二つ違いの妹さんの導きかと因縁めいたものを感じられたそうです。生徒さんの中には、進行性筋萎縮症など様々な障害をかかえながら一生懸命生きている人もいて、その姿に命の大切さや生きることの意味などを教えてもらったとのこと。まさに高木さんの教育者としての原点だったのです。

翌年に正式に教諭として採用され、赴任したのは平田高校でした。時おりしも鳥根くにびき国体開催まで後五年、競技力向上に全県を挙げて取り組んでいる時でした。高木さんは自身も国体の選手候補として、また高校の指導者として二足の草鞋を履いての修行の連続でした。ここでも土曜、日曜日はほとんど県内合宿か県外遠征だったそうです。そして昭和五十五年八月には国体のリハーサル大会として全国教職員剣道大会が大社高校体育館で開催され、出雲大社の大神様のおかげか、神がかり的な戦いで団体、個人とも優勝することができたそうです。素晴らしい。しかし、どこまでも続く修行の歴史を聞いていて胸が苦しくなるようでした。

昭和五十七年八月にはブラジルのサンパウロで第五回世界剣道選手権大会が開催され、日本代表として個人戦に出場という輝かしい成績を

残されました。

警察学校でも新人警察官の教育のかたわら剣道の指導をなさっているようですが、今が一番楽しいそうです。最初におっしゃっていたように競技としての剣道から、ゆつくりと人間形成の人の道を追求していく段階なのでしょう。一昨年五月に剣道界最高位である範士の称号を受称され、これからの高木さんの修行は「何歳まで稽古できるか、自分との戦い」だそうです。いや、まだまだ続く果てしない旅のようです。

(文責 今岡)



## 母校だより

令和元年度県高校総体で、男女総合優勝（3年連続9回目）、男子総合優勝（3年連続4回目）、女子総合優勝（26年ぶり3回目）の完全優勝を達成した大社高校です。陸上競技、水泳、サッカー体操競技でも優秀な成績でしたが、それを牽引したのが剣道部です。「日本一」を目標に、顧問の曾田明浩先生、小村健先生の指導のもと、毎日の厳しい練習に励んでいます。

令和元年（二〇一九年）の主な実績は、  
・中国新人大会（3月）

男子 団体優勝 個人優勝・3位  
女子 団体準優勝 個人3位

・全国選抜大会（3月）

男子・女子とも団体で出場

・県高校総体（6月）

男子 団体優勝 個人優勝・準優勝  
女子 団体優勝 個人優勝・準優勝

・中国大会（6月）

男子 団体優勝 個人優勝・準優勝

女子 団体準優勝 個人ベスト8

・全国高校総体（8月）

男子 団体ベスト16個人出場  
女子 団体出場 個人出場

・国民体育大会（9月）

男子 団体で出場（5位入賞）

主将の森脇章太君（3年）は、「私たち剣道部は『日本一』を目標に日々の稽古に励んでいます。剣道だけでなく、生活から高い意識を持ち、日本一にふさわしい人間になれるよう部員全員で感謝の気持ちをお忘れず頑張っています。これからも応援よろしくお願いします。」と力強く語りました。

（杉谷幸夫  
〈高校三十二期〉記）



（令和元年度国民体育大会男子団体5位入賞）

### 1. 進学状況（合格延べ数・過年度卒業生を含む）

		29年度	30年度	令和元年度
大学	国公立	83	79	63
	私立	308	252	243
短大	公立	9	8	9
	私立	12	15	19
高看		28	36	37
専門・各種（高看を除く）		30	25	31
合計		470	415	402

### 2. 就職状況

		29年度	30年度	令和元年度
公務員		2	10	5
民間事業所		7	6	8
合計		9	16	13

（会報「いなさかい」第50号より）

## 懐かしき稲佐の浜

今年にはコロナ禍がなければオリンピッククイヤーの年でした。今回の会報誌がどのページにもスポーツ関連の記事で埋まっているのはそのため。この写真は昭和三十年代の稲佐の浜の様子です。体育の授業で稲佐の浜から築港まで泳いだ会員の皆さんもいらつしやることでしよう。当時はまるで芋を洗うようなと表現されるのも大げさではない海水浴客の賑わいでした。

国譲り神話の舞台として有名なこの場所では毎年旧暦十月十日、神々をお迎える神迎神事かみむかえしんじが行われ、日本全国から年々その神事を見守る方々が多くいらつしやるようになりました。



写真提供 板垣宏（高校七期）

# 会 務 報 告

事務局長 糸賀耕一（高校十九期）

令和元年度第三十三回総会は、サンラポーむらくもで北島建孝いなさ会会長（高校二十九期）・古居晃校長、杉谷幸夫教諭（高校三十二期）、大谷幸生県庁いなさ会会長代理（高校三十六期）を迎えて、和やかに開催されました。

記念講演は、金築一郎氏（日本ツバキ協会しまね花椿同好会幹事）に「シーボルトから出雲だいいこくまで〜現代の花咲じいさんの楽しいお話〜」と題して話していただきました。

今年の総会は、十月十八日（日）午後四時より「サンラポーむらくも」にて開催します。新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年より遅い時期に開催することになりましたが、ご了承ください。

## 令和元年度の事業

- ▼令和元年五月五日 第一回役員会  
会計監査、前年度の事業報告・決算報告、本年度の事業計画・予算案承認。総会準備、総会案内状・会費納入依頼状・会報発送作業。
- ▼令和元年六月十五日 第三十三回総会  
於・サンラポーむらくも  
参加者 来賓五名、会員二十三名
- ▼令和元年十二月七日 第二回役員会  
本年度の総会・懇親会の反省、来年度の総会打ち合わせ。
- 同日 会報編集委員会
- ▼令和二年三月七日 第三回役員会  
会計中間報告。来年度の総会打ち合わせ。  
同日 会報編集委員会

## 令和元年度松江いなさ会決算書

収入総額	538,149 円
支出総額	288,659 円
差引金額	249,490 円

### 1. 収入の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
会費	240,000	208,000	▲32,000	@2,000×104名
寄付金	50,000	65,000	15,000	今岡愛子様 5,000 いなさ会 50,000 県庁いなさ会 10,000
雑収入	853	2	▲851	預金利息
繰越金	265,147	265,147	0	
合計	556,000	538,149	▲17,851	

### 2. 支出の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	摘要
会議費	30,000	16,193	▲13,807	幹事会、役員会、事務局費等
事務費	60,000	49,388	▲10,612	通信費、事務用品、消耗品等
事業費	350,000	205,424	▲144,576	総会、会報発行費等
慶弔費	20,000	0	▲20,000	
雑費	30,000	17,654	▲12,346	振込手数料等
予備費	66,000	0	▲66,000	
合計	556,000	288,659	▲267,341	

基金積立金現在額 200,000円

## 令和2年度松江いなさ会予算(案)

### 1. 収入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘要
会費	240,000	240,000	0	@2,000×120名
寄付金	50,000	65,000	15,000	
雑収入	853	510	▲343	預金利息
繰越金	265,147	249,490	▲15,657	
合計	556,000	555,000	▲1,000	

### 2. 支出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減	摘要
会議費	30,000	30,000	0	幹事会、役員会、事務局費等
事務費	60,000	60,000	0	通信費、事務用品、消耗品等
事業費	350,000	350,000	0	総会、会報発行費等
慶弔費	20,000	20,000	0	
雑費	30,000	30,000	0	振込手数料等
予備費	66,000	65,000	▲1,000	
合計	556,000	555,000	▲1,000	

基金積立金現在額 200,000円

# 今年度の総会 御案内

日時 十月十八日(日)

総会 午後四時から。

記念講演 午後五時から。

懇親会 午後六時から。

懇親会会費 五千円。

会場 サラボーむらくも(松江市殿町)

記念講演 講師と演題

梶谷 光弘氏

(公益財団法人いづも財団事務局次長)

## 「華岡青洲の真実」

### 講師紹介

一九五二年 大社町生まれ。

一九七五年 島根大学教育学部卒業。

二〇一三年三月まで 公立小中学校、島根大学教育学部附属中学校、島根県教育庁勤務。

その間、兵庫教育大学大学院修了。

その後、島根大学特任教授を経て現職。

### 著書

『華岡流医術の世界』『松江藩校の変遷と役割』

『西洋医学受容から衛生思想普及までの道のり』

『漢学と医学』など多数。

### 講師からのコメント

「江戸時代の医者」と言えば、多くの人が「華岡青洲」の名前を挙げるでしょう。その理由は、有吉佐和子が昭和四一(一九六六)年に発表し

た小説『華岡青洲の妻』の影響です。これにより、それまでは一部の研究者しか知らなかった彼は、一般の人にも知られるようになりました。同時に、そこに描かれた内容はすべて真実として受け取られました。

しかし、この小説には有吉佐和子が考えた創作(フィクション)が随所に散りばめられています。その最たるものは、彼が世界で初めて全身麻酔薬を使って乳がん腫瘍摘出手術に成功したのは文化二(一八〇五)年十月十三日ではなく、一年前の文化元年だったことです。以下は講演でお話させていただきます。

## 皆様へお願い

松江いなさ会では、松江地区在住の方・及び松江地区勤務の方の同窓の絆を深める場として、毎年総会を開催しております。お誘いあわせの上、一名でも多くの方にこの輪に加わっていただき、ご参加いただきますよう、宜しくお願い致します。

松江いなさ会は、皆様からお納めいただく会費で運営しており、御協力いただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

結成から三十年余、松江いなさ会の絆をさらに発展させて行きたいと思っております。

つきましては、年会費は二〇〇〇円、納入期限は一応、十二月末日でございます。

近年、会費納入が減少の一途をたどっております。

り、他面、諸経費の上昇もあり、会計事情は極めて厳しくなっています。事情ご賢察いただきまして、一人でも多くの方からの会費納入をお願い申し上げます。



## 編集後記

会報誌三十一号をお届けするのが半年も遅れてしまいましたことを心よりお詫びいたします。ほんとに新型コロナウイルスの奴め！第二波、第三波の話も聞きますが、会員の皆様もくれぐれも健康に留意されてお過ごし下さるようご祈念申し上げます。

今岡克己(高校二十四期)